

えちごトキめき鉄道 新駅設置について

1 経 過

年 月	区 分	内 容
平成 25 年 11 月	市	県へ新駅設置に対する支援制度創設要望
平成 26 年 4 月	県	補助金交付要綱制定（箇所別調査）
平成 26 年 9 月	トキ鉄	新駅整備可能性等調査を実施
平成 27 年 3 月	市	新駅整備箇所別調査を実施（2 箇所）
平成 27 年 8 月	県・市・トキ鉄	上越市内で移動知事室開催 （えちごトキめき鉄道の利用促進と新駅設置に向けて） ※泉田知事、米田市長、嶋津社長で 2 駅整備の方向で意見交換
平成 27 年 9 月～	市・県	国交省北陸信越運輸局との協議開始
平成 28 年 4 月	県	補助金交付要綱制定（概略設計・費用便益分析）
平成 28 年 11 月	市・トキ鉄	新駅設置に関する基本方針締結
平成 29 年 2 月	市	県へ新駅設置の推進について要望
平成 29 年 5 月	市	新駅設置費用便益分析業務委託を実施
平成 29 年 5 月	市	新駅設置概略設計業務委託を実施
平成 29 年 5 月	市	トキ鉄へ新駅設置計画協議書提出
平成 29 年 9 月	国	H30 補助要望について、国交省と財務省で協議中
平成 29 年 12 月	市	市議会 建設産業常任委員会へ説明 （当面は、押上駅 1 駅の整備を目指す方針について）

2 費用便益分析結果

費用便益分析		押上・今村新田 2 駅整備 (同時開業)	押上のみ 1 駅整備	今村新田のみ 1 駅整備
B/C (費用便益比)	30 年	0.5	1.07	0.1
	50 年	0.5	1.16	0.1

※B/C（費用便益比） … 費用に対する便益の相対的な大きさを比で表現するものであり、この数値が大きいほど社会的に見て効率的な事業と評価される。

※B（便益）：利用者便益、供給者便益、環境改善便益等
C（費用）：初期投資、再投資

〈参考〉 今後の予定（主な業務）

業 務	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度以降	新 駅 開 業
まちづくり構想	→			
詳細設計		→		
国交省認可			→	
用地取得			→	
支障物件移設			→	
本体・周辺工事			→	
設備・システム改修			→	